

さがみはらの

# いろどり 【彩】



緑区三ヶ木

## 色褪せない伝統を未来へ 緑区三ヶ木(津久井地区)

相模原ICを降りて約15分、林の中を進んでいくと津久井湖の畔に田倉製紐工場が見えてきた。工場に近づくにつれて、カチャ、カチャ、カチャ、カチャと製細機が回転する音が次第に大きくなっていく。

「この工場は50年以上の歴史があります。組みひもは、和装の帯ひもだけでなく、武具や茶道具に使う飾りひもといった昔ながらの用途が知られていますが、何十本もの糸を組み合わせることでとても頑丈になるので、防災用のロープ



50年の歴史を誇る

田倉製紐工場

Note

組みひもの工場見学については、観光協会へお問い合わせを  
一般社団法人相模原市観光協会  
神奈川県相模原市緑区橋本6-4-15 Flos橋本3F  
☎042-771-3767 <http://www.e-sagamihara.com>



圏央道 相模原ICより約15分

100台あるという製細機が動く様は壮観。田倉さんが話に夢中になると、奥さんが合いの手を入れたりして、会話も楽しく充実した見学となった。工場見学は事前予約制。



などにも使われているんですよ」と話すのは経営者の田倉さん夫妻。江戸時代に養蚕で栄えた相模原では、大正時代以降、近代化が進み組みひもが盛んに製造された。しかし近年、海外の安価な製品が多く出回るようになると、組みひも工場は次第に減ったという。せわしく動く機械を見ていると、様々な色の糸を複雑に組み合わせ一本のひもが編まれていくのがわかる。編み方や色合わせは、田倉さん夫妻が試行錯誤しながら「編み出した」ものだ。「手に取る人、使う人に思いを馳せながら作るんですよ」とっこり。彩り豊かな製紐に込められた夫妻の想いに気づき、相模原の歴史を少し身近に感じた。

